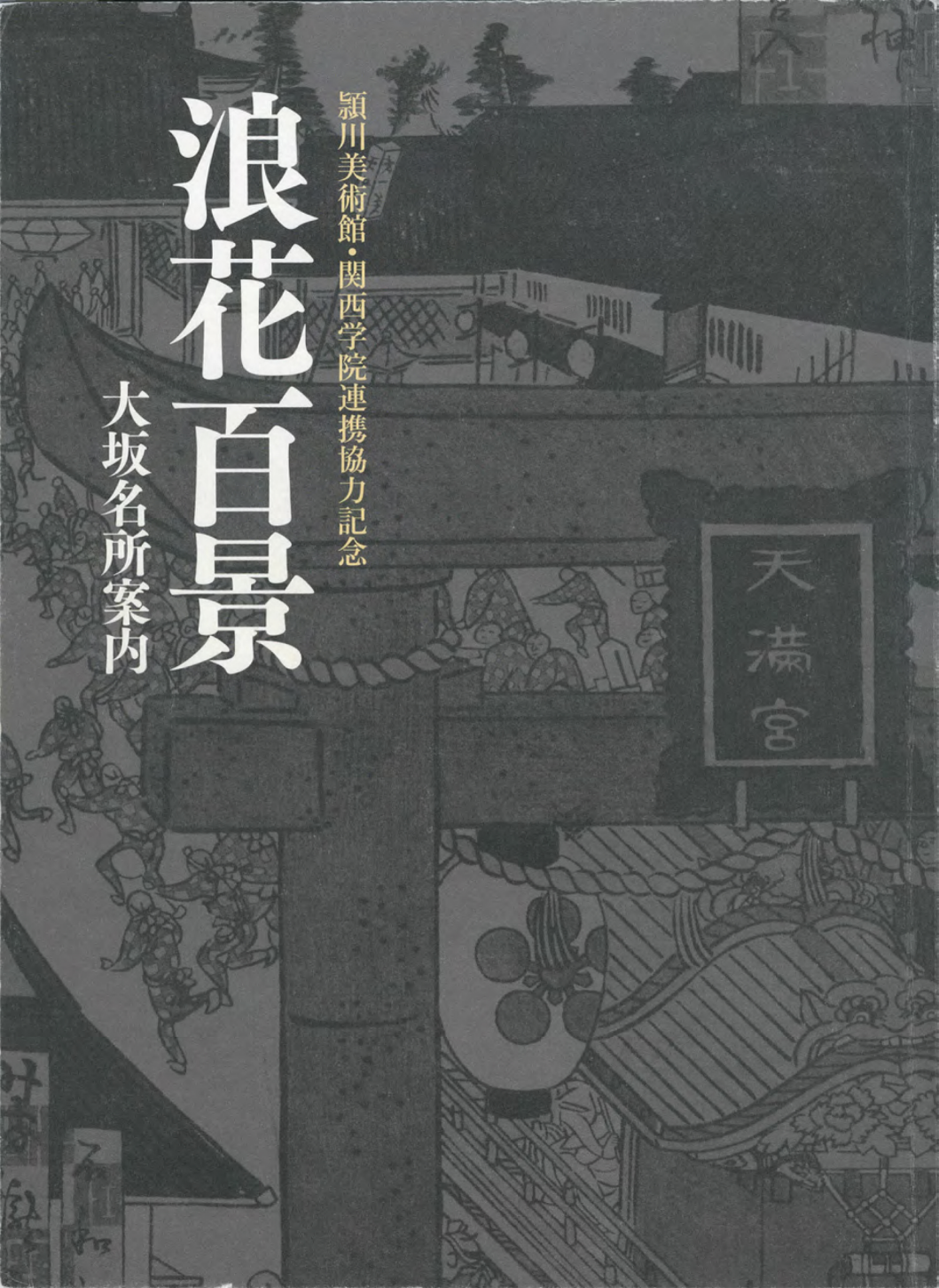


穎川美術館・関西学院連携協力記念

浪花百景

大坂名所案内

天満宮



学校法人関西学院は、二〇〇九年一月一日に財団法人颯川美術館と連携協力の協定を締結しました。颯川美術館は、大阪の実業家颯川徳助氏が収集した古美術品のコレクションで知られています。コレクションは平安時代の仏画をはじめ、室町時代の水墨画、長沢芦雪や池大雅らの江戸時代の絵画が中心をなし、さらに茶道具や墨跡など、重要文化財四件、重要美術品四件を含む約五〇〇点に及びます。この貴重なコレクションの保存と公開活用を図るために財団が設立され、一九七三年一月一日に美術館として開館しました。

颯川美術館は、春秋の展覧会はもとより、公開講座など地域の文化活動に貢献され、また関西学院より最も近い美術館として、かねてより博物館実習の学生を受け入れていただくなど大学の教育にもご協力をいただいております。今般、さらなる学校教育と地域の文化活動の連携を図り、学生が美術に親しみ、学術研究がいつそう推進され、あるいは地域への文化貢献を果たすべく美術館と学院が協力体制を組むことになりました。

今回は、その一環として颯川美術館が所蔵する「浪花百景」を公開します。「浪花百景」は、幕末に大坂で活躍した三人の浮世絵師——珠齋国員、一養斎芳瀧、南粹亭芳雪——の合作になる一〇〇枚の浮世絵で、浪花の有名な風景や風物を季節感豊かに描いています。「天下の台所」と呼ばれ、活況を呈する大坂、あるいは「水の都」と称された美しい水辺の風景など往時の大坂を彷彿とさせる錦絵です。

どうぞ、一五〇年前の大坂へタイムスリップの旅をお楽しみ下さい。

目次

ごあいさつ 河上繁樹 ————— 2

ラフカディオ・ハーンと「浪花百景」 永田雄次郎 ————— 4

上方浮世絵における「浪花百景」の史的特質 八反裕太郎 ————— 8

凡例 ————— 16

図版

参考地図1 増修改正摂州大坂地図 ————— 18

目録 ————— 20

淀川沿いの景色 ————— 22

浪花名物八百八橋 ————— 35

浪花の商い ————— 43

浪花四季の行楽 ————— 55

浪花の寺社めぐり ————— 77

浪花のあそび ————— 102

浪花の景勝地 ————— 110

作品リスト ————— 122

参考地図2 「浪花百景」所在地図 ————— 125

参考文献 ————— 126



作品リスト

番号	名称	絵師	年代	判形	所在地
	目録 1				江戸時代末期 中判※
	目録 2				江戸時代末期 中判
淀川沿いの景色					
1	三嶋江	国員	江戸時代末期	中判	高槻市
2	佐太村天満宮	芳雪	江戸時代末期	中判	守口市
3	江口君堂	国員	江戸時代末期	中判	東淀川区
4	柴島晒堤	国員	江戸時代末期	中判	東淀川区
5	十三中道	芳雪	江戸時代末期	中判	淀川区
6	長柄三頭	国員	江戸時代末期	中判	北区
7	毛馬	芳雪	江戸時代末期	中判	都島区
8	源八渡し口	国員	江戸時代末期	中判	北区
9	あみ嶋風景	国員	江戸時代末期	中判	都島区
10	八軒屋夕景	国員	江戸時代末期	中判	中央区
11	川口雑喉場つきし	芳瀧	江戸時代末期	中判	西区
12	下安治川随見山	芳雪	江戸時代末期	中判	港区
13	天保山	芳雪	江戸時代末期	中判	港区

番号	名称	絵師	年代	判形	所在地
浪花名物八百八橋					
14	三大橋	国員	江戸時代末期	中判	北区
15	天満ぼし風景	国員	江戸時代末期	中判	北区
16	安治川ぼし	国員	江戸時代末期	中判	西区
17	京橋	芳雪	江戸時代末期	中判	中央区
18	今橋つきぢの風景	国員	江戸時代末期	中判	中央区
19	玉江橋景	国員	江戸時代末期	中判	福島区
20	四ッ橋	芳瀧	江戸時代末期	中判	中央区
21	道頓堀太左衛門橋雨中	芳雪	江戸時代末期	中判	中央区
浪花の商い					
22	雑喉場	芳瀧	江戸時代末期	中判	西区
23	天満市場	国員	江戸時代末期	中判	北区
24	永代浜	芳瀧	江戸時代末期	中判	西区
25	堂しま米市	国員	江戸時代末期	中判	北区
26	大江ぼしより鍋しま風景	国員	江戸時代末期	中判	北区
27	解舟町	国員	江戸時代末期	中判	西区

※実寸は二四・四×一六・六(㎝)前後

番号	名称	絵師	年代	判形	所在地
28	長堀材木市	芳瀧	江戸時代末期	中判	西区
29	長堀石浜	芳瀧	江戸時代末期	中判	中央区
30	長町裏遠見難波蔵	芳瀧	江戸時代末期	中判	浪速区
31	天下茶やぜさい	芳瀧	江戸時代末期	中判	西成区
32	松屋呉服店	芳瀧	江戸時代末期	中判	中央区
33	三井呉服店	芳瀧	江戸時代末期	中判	中央区
浪花四季の行楽					
34	今宮蛭子宮	芳瀧	江戸時代末期	中判	浪速区
35	錦城の馬場	芳瀧	江戸時代末期	中判	中央区
36	梅やしき	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
37	産湯味原池	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
38	野中観音桃華盛り	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区 <small>（註）</small>
39	住吉高とうろう	芳瀧	江戸時代末期	中判	住之江区
40	天満樋の口	芳瀧	江戸時代末期	中判	北区
41	さくらの宮景	芳瀧	江戸時代末期	中判	都島区
42	北妙けん堤	芳瀧	江戸時代末期	中判	北区
43	堀川備前陣家	芳瀧	江戸時代末期	中判	北区
44	新町廓中九軒夜桜	芳瀧	江戸時代末期	中判	西区
45	覚満寺之夕景	芳瀧	江戸時代末期	中判	北区
46	野田藤	芳瀧	江戸時代末期	中判	福島区

番号	名称	絵師	年代	判形	所在地
47	吉助牡丹盛り	芳瀧	江戸時代末期	中判	中央区
48	うらえ杜若	芳瀧	江戸時代末期	中判	福島区
49	浅沢の弁才天	芳瀧	江戸時代末期	中判	住吉区
50	河堀口	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
51	天満天神地車宮入	芳瀧	江戸時代末期	中判	北区
52	戎嶋天満宮御旅所	芳瀧	江戸時代末期	中判	西区
53	天神祭り夕景	芳瀧	江戸時代末期	中判	北区
54	しりなし漆つつみ 甚兵衛の小家	芳瀧	江戸時代末期	中判	港区
55	寿法寺	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
浪花の寺社めぐり					
56	四天王寺	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
57	四天王寺伽藍	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
58	勝曼院愛染堂	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
59	広田社	芳瀧	江戸時代末期	中判	浪速区
60	広田星カ池稻荷	芳瀧	江戸時代末期	中判	浪速区
61	舍利寺	芳瀧	江戸時代末期	中判	生野区
62	住吉本社	芳瀧	江戸時代末期	中判	住吉区
63	住吉反橋	芳瀧	江戸時代末期	中判	住吉区
64	住よし大和橋	芳瀧	江戸時代末期	中判	住之江区

番号	名称	絵師	年代	判形	所在地
65	住よし五大刀	芳瀧	江戸時代末期	中判	住吉区
66	浜村鬼子母神	国員	江戸時代末期	中判	北区(註2)
67	佐奈田山三光宮	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
68	茨住吉	芳瀧	江戸時代末期	中判	西区
69	両本願寺	国員	江戸時代末期	中判	中央区
70	二軒茶や風景	国員	江戸時代末期	中判	東成区
71	北之大融寺	国員	江戸時代末期	中判	北区
72	真言坂	国員	江戸時代末期	中判	天王寺区
73	高津	芳瀧	江戸時代末期	中判	中央区
74	生玉絵馬堂	国員	江戸時代末期	中判	天王寺区
75	生玉弁天池夜景	芳雪	江戸時代末期	中判	天王寺区
76	新清水紅葉坂瀧	芳雪	江戸時代末期	中判	天王寺区
77	川崎御宮	国員	江戸時代末期	中判	北区
78	鉄眼寺夕景	芳雪	江戸時代末期	中判	浪速区
79	茶白山雲水	芳雪	江戸時代末期	中判	天王寺区
80	あみだ池	芳瀧	江戸時代末期	中判	西区

浪花のあそび

番号	名称	絵師	年代	判形	所在地
81	道頓堀角芝居	国員	江戸時代末期	中判	中央区
82	北瓢亭	国員	江戸時代末期	中判	北区
83	増井浮瀬夜の雪	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区

84	西照庵月見景	芳雪	江戸時代末期	中判	天王寺区
85	新町店つき	国員	江戸時代末期	中判	西区
86	浪花橋夕涼	国員	江戸時代末期	中判	中央区
87	川崎ノ渡シ月見景	芳雪	江戸時代末期	中判	北区
88	木津川口千本松	芳雪	江戸時代末期	中判	西成区

浪花の景勝地

89	筋鐘御門	国員	江戸時代末期	中判	中央区
90	茶白山	芳雪	江戸時代末期	中判	天王寺区
91	御勝山	芳雪	江戸時代末期	中判	生野区
92	宗禅寺場々	国員	江戸時代末期	中判	東淀川区
93	四天王寺合辻	芳雪	江戸時代末期	中判	天王寺区
94	天王寺増井	芳瀧	江戸時代末期	中判	天王寺区
95	安居天神社	芳雪	江戸時代末期	中判	天王寺区
96	福しま逆橋松	芳瀧	江戸時代末期	中判	福島区
97	蛸の松夜の景	国員	江戸時代末期	中判	北区
98	松のはな	国員	江戸時代末期	中判	西区
99	住吉岸姫松	芳瀧	江戸時代末期	中判	住吉区

(註1) 現在は生野区へ移転
(註2) 現在は高槻市へ移転

穎川美術館・関西学院連携協力記念

浪花百景

大坂名所案内

謝辞
本展覧会の開催ならびに本図録の編集にあたり、次に記す方々に多大なご協力を賜りました。ここに記し、深く感謝の意を表します。
(五〇音順・敬称略)

板橋区立美術館

大阪市立海洋博物館なにわの海の時空館

大阪城天守閣

大阪府立中之島図書館

大阪歴史博物館

国立歴史民俗博物館

東京都江戸東京博物館

三重県立博物館

岩佐伸一

大久保純一

神垣八千代

北山雅博

瀬島宏計

二〇一〇年五月十二日発行

編集・発行——関西学院大学博物館開設準備室

〒六六二一八五〇一

西宮市上ヶ原一番町一―一五五

印刷・製本——日本写真印刷株式会社

©KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
MUSEUM PLANNING OFFICE 2010